

「新川漁港」で漁港の有効活用に向けた取組を進めます

海洋環境の変化に伴う水揚げ量の減少や担い手の高齢化など、水産業を取り巻く環境が厳しい中、国（水産庁）は、海や漁村に関わる地域資源を活かした「海業」（うみぎょう）の振興を掲げています。海業とは、海や漁村の地域資源の価値や魅力を活用する事業で、地域のにぎわいや所得と雇用を生み出すことが期待されています。

そこで、新潟市が管理する新川漁港において、将来に向けた活性化や有効活用に向け、令和6年8月に新川漁港活性化協議会を設立しました。新潟漁業協同組合五十嵐浜支所、地域で活動している企業や団体、新潟市を中心とした組織です。

この度、例年実施している「夏休み地引網体験」に漁港内で楽しめるコンテンツを増やし下記の内容で実施します。定員500名に対し1,700名を超える申込がありました。

今後、新川漁港において「にぎわい・交流生まれる漁港づくり」、「漁港背後の商店街と連携したまちづくり」、「漁業の活性化・担い手の育成」に向けた取組を進めていきます。

記

日 時：令和7年7月19日（土） 午前6時～午後0時まで

会 場：五十嵐2の町浜、新川漁港（新潟市西区五十嵐2の町）

内 容：午前6：00～ 地引網体験

午前7：15～ ヒラメ稚魚の放流

午前8：00～ 番屋汁の振る舞い、釣り体験、SUP(スタンド・アップ・パドルボート)体験、パドラーボート体験、ビッグローラー体験、水上バイクの展示

午前9：00～ ステージイベント・こども縁日



【問い合わせ先】

新潟市農村整備・水産振興課（新川漁港活性化協議会事務局）

担当：佐藤 電話 025-226-1849 メール noson@city.niigata.lg.jp